



3年学年だより

発行日:令和8年2月27日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:二上 直子 NO. 10



令和7年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校 15 期生適性検査が実施されました。附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和7年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今月の学年だよりでは、各学年の主任からのことばをお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和7年度も残りひと月、よろしく願いいたします。

心のペダルを上手に踏んで

3年学年主任

みなさんは自動車のブレーキとアクセルのペダルを知っているでしょうか。**ブレーキの方が幅が広く大きい、アクセルの方が幅が狭く小さい**です。車を運転していて、「止まらないと!」と思った時には必死にブレーキを踏みます。そのブレーキが小さくて、踏み外したら大惨事です。だから、車のブレーキは大きく、踏みやすいようにできているのでは?と思います。…それは人間も同じかなと。自分にとってきついこと、心の中で「やった方がよい」ことはわかっているのに…「やらない理由」を探し、「心のブレーキ」を踏んでしまう。それはきっと、ブレーキの方が踏みやすいから。

逆に、アクセルペダルはどうでしょうか。「アクセルを踏む」=「前に進む」ということです。しかし、アクセルを踏むことを止めたらスピードが遅くなります。踏み続けるのはなかなか疲れる作業です。途中、休憩や安全のためにブレーキを踏むことも大事。でも、前に進むには、アクセルを踏まないといけません。人間も同じですね。心のアクセルを踏んで努力をし、前に進んでいくことが大事。これも、みなさんわかっていることだと思います。

しかし、厄介なのは、**ブレーキとアクセルが隣にある**ことです。しかも、ブレーキは大きい。アクセルは小さい。…ブレーキを踏みたくなくなりますよね。意図してブレーキを踏むときがあっても良いと思います。でも、いつかアクセルを踏めるようにしてほしい。なんとなくだらけてしまっただけでアクセルを踏めない人は、ちょっとずつでも踏んでいかないと、後悔してしまうかも。今自分は、どちらのペダルを踏んでいますか?そして、自分の人生をどの方向に動かすか、そのハンドルを握っているのは、他でもない自分です。自分の道に責任をもって、進んでいきましょう。

雨過天晴 ☀️ 🌧️ 🌈

2年学年主任

新年度が始まり、希望と不安でいっぱいだった4月。早いもので1年が経とうとしています。今、みなさんはこの1年を振り返って、どのように感じていますか。個人差はあれど、様々な想いが心の中にあるのではないのでしょうか。

「たとえ苦しいことがあっても、その先はきっと楽しいことがある。必ずその状況を切り拓くことができる。」

これは、私が常々心に留めていることです。この意味を書き初めて表現したいと思い、「雨過天晴」という言葉を選びました(しばらく4階に飾っていただきましたが、「雨」が入った熟語を探して書いたわけではありません!)。決して楽観的になってほしいわけではないのですが、何とかなることも多いです。自分なりに頑張ったり、誰かに相談してみたり、無理せずしっかりと休んだりするなど、状況を変える方法はたくさんあります。一歩踏み出す勇気を大切にしてください。目の前が曇り空でも、その先の晴れ空を想像してみましょう。そうすれば、心が少し軽くなり見える景色も変わってくると思います。日常と同じように、いつかきっと晴れると思います。

最後に13期生のみなさん、1年間ありがとうございました。特に印象に残っているのは、新潟イングリッシュキャンプです。13期生パワーが全開でした(特に DanceParty ♪)。いよいよ中学最高学年。最高の思い出をつくろう。

探究心をさらに育てていく、新たな1年に

1年学年主任

この一年を振り返ると、様々な場面でいきいきと楽しそうに取り組むみんなの姿を目にすることがありました。例えば、合唱コンクールや南高祭に向けて練習や準備に取り組んでいた場面。EGGでテーマを決め、友だちと協働しながら取材したりアンケートをとったり、もっと深く調べてみようという頑張っていた場面。また、放課後は委員会や部活動に一生懸命に取り組む姿もありました。そして日々の数学の授業では、「すごい、面白い、自分もやってみたい」「もっと説明したい、話し合いたい」という表情や雰囲気が、どのクラスにもあり、みんなとする授業が本当に楽しかったし、多様な考えや解き方に毎回驚かされました。

いきいきと取り組む様子、もっと学びたいと課題や物事に対して主体的に取り組む気持ち、そんなみんなの姿こそ教育目標にもある「探究心」と言えるのではないのでしょうか。

春の香りに包まれた明日からの3月は、1年間の締めくくりの時期であると同時に、次の学年に向けて「新たな気持ちでまた頑張っていくぞ」と決意する時期でもあります。最後まで笑顔あふれる一か月にしていきたいと思います。そして、来年度も行事に、委員会や部活動、そして授業に、一人ひとりが「探究心」をさらに育てていく、希望に満ちあふれた1年にしていきたいと思います。

読書感想文 表彰

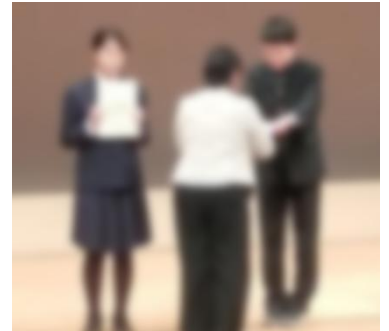
令和8年2月20日(金)、「第71回青少年読書感想文全国コンクール・横浜地区表彰式」が南公会堂で開催されました。南高校附属中学校3年生からは、1組の■■■■さん、3組の■■■■さんが共に優秀賞を受賞しました。



■■■■さんは多くの人を悩ませ続ける「劣等感」とは何なのか、どんな力を持っているものなのかを考えていた際に、星新一氏の『あいつが来る』に収録されている『治療』に出会い、様々な体験もふまえ、「劣等感」は向上心にもつながり、しっかりと向き合うことによって、私たちにとって恐れるべきものではなくなっていく、という内容の感想を書き、評価されました。



■■■■さんは名和民夫氏の『バット職人～名工が匠の技で描く白球の軌跡～』を読んでいく中で、自らの部活動での経験を振り返りながら「挑戦が人を強くする」「人は環境が変化することによって自分の新たな可能性に気づくことができる」といった感想を書き評価されました。



おめでとうございます



南高祭体育祭の部に向けて

～応援団結成～

	3年1組 緑	3年2組 青	3年3組 黄	3年4組 赤
団長				
副団長				
団員				
団員				

体育祭の花でもある「応援団」が今年も結成されました。応援団は、体育祭でみんなを先頭に立って引っ張る、いわば団のリーダーです。大きな声で仲間を励まし、士気を高め、団全体を一つにまとめる重要な役割を担っています。特に中学3年生の応援団は、高校応援団とも連携しながら活動する中心的

な立場です。下級生にとっては頼れる背中となり、上級の高校生からは学びを受けながら、双方をつなぐ架け橋として活躍します。

現在、各応援団はそれぞれに応援歌や掛け声づくりに取り組んでいます。どの団も、「どうすれば仲間の心が燃えるか」「みんなで声を合わせたときにどんな姿になりたいか」を真剣に考えながら、知恵を出し合っています。まもなく、各団から応援内容の発表があります。その後は練習がスタートし、いよいよ体育祭に向けて団の色が本格的に形になっていきます。本番はもちろん、これから始まる練習期間も、仲間と力を合わせる大切な時間です。みなさん、どうぞ楽しみにしてください。

国語スピーチ

進学を決意

現在3学年の廊下には、個性豊かな掲示物が所狭しと貼られています。これは生徒一人ひとりが、国語科の授業で行った「進学を決意」スピーチのフリップです。

このスピーチでは、生徒みなさんが中学3年間で経験してきたことをもとに、高校進学後に行いたいこと、自分が大切にしていきたい価値観など自身の将来についての思いを、発表していききました。

スピーチ当日は、緊張感が各クラスにあふれ、スピーチ原稿を何度も見返しながら最終確認をしていました。一人ひとりのスピーチは個性豊かで、その一つひとつが真剣に考え抜かれたものであり、教員・生徒ともに大いに感動し、各スピーチが終わるたびに、教室は大きな拍手で包まれました。仲間のスピーチを聴くことで、更に自身の将来を深く考え、自分の決意を確かなものにするきっかけにもなったことでしょう。中学生活のゴール間近でスピーチした「進学を決意」は、高校進学後もさらに、続きが作られていくのでしょうか。素敵な未来を作り続けてください。3年フロアの廊下に掲示していますので、ぜひお立ち寄りください。



卒業研究発表会

EGGの学びは、「豊かな心」「確かな学力」、そして変化の激しい社会を自ら切り拓く力を育むための、本校独自の重要な教育活動です。3年生では、これまでに身に付けた力を活用し、6つの領域(社会・国際/環境・科学/健康・スポーツ/人文・心理/技術・工学/芸術・文化)からテーマを設定して卒業研究に取り組みます。夏休みを中心に本格的な調査を行い、中間発表を経て、論文にまとめました。

3月14日(土)に、3年生による卒業研究発表会を実施いたします。当日は、生徒一人あたり10分間で自分の卒業研究の内容について発表および質疑応答を行います。発表は 1時間目(8:55～10:05)と 2時間目(10:15～11:25) のいずれかで行います。お子さまの発表時間をご確認のうえ、どうぞご来校ください。

今後とも、ご家庭での励ましやご支援をよろしくお願い申し上げます。

お子さまの領域 _____ 教室名 _____ 時間目の _____ 番目 _____